

2019年7月4日

学校法人三幸学園  
横浜医療秘書歯科助手専門学校  
校長 坂本 紀典 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 垣野 裕

### 学校関係者評価委員会実施報告

2018年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

##### 1 学校関係者評価委員

- ① 垣野 裕（社会医療法人社団仁医会 牧田総合病院 経営企画室 医事管理部部長）
- ② 太田 一也（社会医療法人財団 法人事務局 総務部長）
- ③ 中野 玲奈（2018年度 卒業生）

##### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

2019年5月27日（会場 横浜医療秘書歯科助手専門学校 801教室）

##### 3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

# 2018年度 学校法人 三幸学園 横浜医療秘書歯科助手専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 清 洋介

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 垣野 裕

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療現場で医療事務・診療情報管理を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え続ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

- ・教科会の開催により教科の方針が共有でき、授業アンケートの向上に繋がった
  - ・グループワークやペアワーク、LITE等のアクティブラーニングの定着により授業アンケートが向上した
  - ・遅刻や欠席が多い生徒の小さな変化やサインに気付くことが出来ず早期フォローが出来なかった結果、退学率が上がってしまった
- ⇒今年度は状況把握のアンケートの実施により問題の早期発見できるよう努める

### ② 学校関係者評価委員会コメント

- ・アクティブラーニングのことはオープンキャンパスに参加したときから聞いていた。直接先生に聞きにくいような小さなことも教え合える環境があった。(中野委員)
- ・病院では健康管理室(精神科医・保健師)に相談できる体制を作っている。結構需要はある。誰がいつ利用しているかも分からないようにしている。退職になってしまった場合でも、本当はどんなことが理由で退職になったかをヒアリングできるようにした。(垣野委員)
- ・近年では体力的な部分だけではなく、精神的なことを理由に退職するケースが多い。発達障害が疑われるケースもある。ストレスチェックから意外と詳細なデータが見えてくる。大学生などは思っていたのと違うと辞めてしまうケースが多い。(太田委員)

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

#### ① 課題

- ・教育理念や人材育成目標については、職員、生徒共に共有し浸透はしているが、全教科の中で実践できているかが課題。継続的に意識する必要がある。
- ・学校教育における保護者の協力を得られるような対策を行っていく必要がある。

#### ②今後の改善方策

- ・担任メンバーと専任講師のコミュニケーション強化を図る為に、生徒情報をこまめに共有できるツールの活用。
- ・教科会や教務研修の参加率や質の向上。

#### ③ 特記事項

- ・新任教職員については4月に研修を実施。
- ・保護者へ学校への理解をいただくための保護者説明会の実施。（生徒と保護者一緒に同じ話を聞いて貰った）
- ・年3回の全体会議にて課題の共有と方向性の確認。
- ・2019年度より各学科新カリキュラムの実施、シラバス公開

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・三幸学園の卒業生は優秀。中堅層に育ってきている為業務の効率化が図れてきている。2年目以降、仕事に慣れてくると遅刻欠席が出てくる。挨拶など基本的なことは出来ている。（垣野委員：両学科について）
- ・医療系の学校を出ている子は忙しい部署に配属されるケースが多い。大学の新卒との差はいい意味で大きくある。専門学校生は時間をしっかり守る。（太田委員：医療秘書科について）
- ・就職してから大きなギャップは無い。しかし同級生の話を見ると、思っていたのと違う・残業が多いという理由で辞めたいという話を聞く。（中野委員：医療秘書科について）

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

### ① 課題

- ・規則などはしっかりと整備されているが、個人への浸透がうすい。
- ・財務に関する意識が弱い。

### ② 今後の改善方策

- ・各規程を適宜会議などで共有。

### ③ 特記事項

- ・問題があった際は、年3回の全教職員の会議にて事例の共有。
- ・教務システム導入により業務の効率化

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・病院は就業規則には則って業務を進めている。個人情報のところは厳しく見ている。（垣野委員）
- ・患者情報の漏洩に関しては懲戒処分に該当するような厳しい処分をおいている。最近はこれを SNS に投稿したらどうなるかという想像力が欠けているように思う。（太田委員）
- ・年に一度ハラスメント研修を実施し、ハラスメントになるかどうかは受け手の気持ち次第であるということを研修している。（太田委員）

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### ① 課題

- ・医療機関との産学連携が難しい
- ・早期の職員採用と定着
- ・業界理解や知識向上の為の研修の機会が不足している

#### ② 今後の改善方策

- ・特に新人教員に対しての研修の強化。

#### ③ 特記事項

- ・成績評価、単位認定の認識統一のため教科会の実施
- ・医療現場の方を招いての研修を実施
- ・学園全体で入社年次に合わせた研修を実施している。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・病院で働いてみて、ビジネスマナーの言葉遣いや電話対応の仕方等が役立った。逆にクレーム対応や窓口の受け答えの仕方についてもう少し学びたかった。また公費の受給者証の見方なども詳しく勉強しておけば良かった(中

野委員)

・学校で習ってくることは知識として大切だが、業務を教える事は病院側の責任としている。接客スキルは育ち持った部分もあるが、そこを不安に感じる新入職員もいるため、学校側に委ねたい部分もある。(垣野委員:診療情報管理士科について)

・学校には年齢が近くて相談しやすい先生や尊敬できる先生がたくさんいた(中野委員:医療秘書科について)

・病院に入って目上の方や多職種に対して上下関係が必要になる場面は大いにある。上下関係がある中での信頼関係や関係性を築けていけたら良い。(垣野委員:診療情報管理士科について)

#### (4)学修成果

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

・退学率の低減

##### ② 今後の改善方策

- ・生徒の情報共有ツールの作成、体制の構築
- ・クラス会議の実施
- ・性格診断テスト(ハイパーQU)の実施
- ・出身高校教員との連携

##### ③特記事項

- ・内定前の研修を行うことで、早期の離職が少なくなった。
- ・気になる在校生の保護者への電話がけ。保護者含めての三者面談の実施。
- ・資格取得率向上のための検定 WEEK を実施中。

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・身の回りではあまり聞かないが、SNSなどで、悩んでいるけど相談できないという投稿もあつたりする。自分は同期もいて年の近い先輩もいるため相談しやすい。(中野委員:医療秘書科について)

・4、5年前の話だが、同期がいなかったために孤立感がでてしまった新入職員がいた。それ以降、同部署で同期を置くようにはしている。(垣野委員)

## (5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

### ① 課題

- ・卒業生の支援体制はあるが、認知がうすい。
- ・精神的に弱い生徒のサポート強化

### ②今後の改善方策

- ・同窓会リンクを利用し、卒業生とのつながりを深める、また卒業生サポートの認知を広げる。
- ・保護者との連携強化。

### ③ 特記事項

- ・保護者会にて学校の教育方針や、就職や実習の規定等、細かい部分まで伝えるようにしている。
- ・年度初めに保護者とコンタクトを取る。
- ・メンタルの弱い生徒へのカウンセラーへの促し。
- ・就職に関しては担任とエリア担当のダブルフォローを行っている。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・卒業後の再就職サポート制度があるという事を周りはあまり知らない。学校に迷惑をかけてしまっている手前連絡しにくいという声も多い。（中野委員：両学科について）
- ・卒業してから何年目位までの生徒の状況報告が必要か迷う。（太田委員：両学科について）
- ・学校に申し訳ないという気持ちは不要ではないか。病院側として、あそこの生徒はすぐ辞めるから求人出さないといいようにはならない（垣野委員：両学科について）

## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

### ① 課題

・防災、安全管理については整備を行っているが、全職員へ浸透させる必要がある。

### ②今後の改善方策

・全職員が参加する避難訓練や、避難器具の研修を行う。

### ③特記事項

・ハザード対応ポイントガイドを作成し、生徒・教職員へ配布

### ④学校関係者評価委員会コメント

・特になし

## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	3

### ① 課題

・診療情報管理士の募集が芳しくない。

### ② 今後の改善方策

・職種の認知を行っていく必要がある。

(WEB、ダイレクトメール、高校への出張授業など)

### ③ 特記事項

・H30診療情報管理士認定試験の合格率は92%。

### ④学校関係者評価委員会コメント

・特になし



## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

なし

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

なし

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

一昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

#### 【財務情報の公開】

なし

### ③ 特記事項

なし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

・更なる法令遵守の推進

### ② 今後の改善方策

・会議や掲示物などを通じて、すべての教員に対して法令遵守をさらに徹底させる。

### ③ 特記事項

なし

### ④学校関係者評価委員会コメント

・特になし

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

### ① 課題

・ボランティア活動が体系化されていない状況。

### ② 今後の改善方策

・医療分野に関わるボランティア活動などを告知できる体制をつくる。

### ③ 特記事項

・地域貢献活動（ハロウィンイベント）の実施。

### ④学校関係者評価委員会コメント

・特になし

## (11)国際交流

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	2
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	2
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
学内で適切な体制が整備されているか	2

### ① 課題

- ・留学生受け入れにおける適切な体制作り。
- ・留学生に対して、積極的に募集活動を行えていない現状がある。

### ② 今後の改善方策

- ・すでに留学生受け入れにおいて、実績のある姉妹校から情報収集
- ・留学生にたいする就職先の確保

### ③ 特記事項

なし

### ④学校関係者評価委員会コメント

- ・特になし

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

医療機関ではどんな人材が求められるか、どのような教育をしているかを情報共有し、学校で身に付けておくべき力を検討した。現場で今求められる力を身に付ける為に、積極的に現場の意見のヒアリング、カリキュラムの見直しを行い改善していく方針である。

また知識や技術を身に付けるだけではなく、社会人として必要なコミュニケーション能力やマナーも大切に、チーム医療に貢献することや長く働ける社会人を育成することにも教員が一丸となり力を入れていく。

「相手のこうしてほしいを理解し考え動ける人材」を人材育成目標とし、医療機関や卒業生との連携を強化し、社会に出て活躍できる人材を育成していきたい。

以上